



出張の途中、車の中でラジオを聴いているとなんとも興味深い内容が流れてきました。それは、「夫を立てれば息子の成績が上がる」という法則です。

## 息子の成績を上げる方法！

人工知能研究者の黒川伊保子さんとのトーク番組でした。黒川さんの説明によると、女の子は最初の1歩を無邪気に出せるそうです。それは女性脳が過程を楽しむ脳だからです。例えば、バレエを習い始める時に憧れのモデルがあるのではなく、「きれいなスカートを履きたい」とか「何かきれいになりたい」とか、自分の身の回りのことで最初の1歩を踏み出せるのです。子どもの頃にままごと遊びをするのも過程を楽しんでいるからとのことでした。



一方の男性脳というのはゴールを設定しないと最初の1歩が出しにくい脳なのだそうです。ですから、ゴール思考の男の子は事を始める時、ちょっと遠くの理想を掲げて最初の1歩を踏み出すのです。例えば、野球を始める男の子には憧れの野球選手があり、サッカーを始める男の子にも憧れのサッカー選手があり、あんな選手のようにになりたいという気持ちで最初の1歩を踏み出すのです。

父親は、男の子にとっては人生最初のロールモデルです。ですから、小さな男の子は憧れの選手を認識する前に、何でも出来る身近な父親に憧れるのです。

また、男の子がこの世で一番愛する最初の女性は身近な母親でしょう。その母親が父親を大切にしていると、男の子はさらに父親を憧れの存在とし、幼児の時から人生最初の目標としてお父さんみたいにあれもできるようになりたい、これもできるようになりたいと、気持ちよく父親をめざすことになるのだそうです。その結果として、男の子は勉強もがんばるようになるというのが心理学的にも、脳科学的にもいえるのだという説明でした。

黒川さんは、「ちゃんと勉強しないと、お父さんみたいになっちゃうよ。」と、父親を反面教師に使うことは、男の子の頑張る意欲をそぐことになり、大変危ない態度であると話されていました。



ガッツポーズをする世のお父さんたちの姿が目には浮かびますが、そんな学説に応えるためにも、お父さん自身の日々の努力にも期待します。

校長 松川 明義

【行事予定】2月15日(水)：人権教育公開 LHR(1・2年) 20日(月)：電気科出前授業(加茂中)

21日(火)～28日(火)：1・2年学年末考査

〔手話学習〕2/14(火)W1 2/15(水)E1・K1 2/16(木)M1・C1

今週末の大会等：スキー国体(岩手)

